

リュウキュウツルグミ

がくめい
学名 Elaeagnus liukiuensis

かめい
科名 グミ

べつめい
別名 ヒロハツルグミ、
オキナワグミ



くぶん
区分 木本類

ぶんぶ
分布 鹿児島 (奄美大島以南)、沖縄

はかたち
葉の形 楕円形

はふち
葉の縁 全縁

はさき
葉の先 鋭尖形

はしゅるい
葉の種類 単葉

はつきかた
葉の付方 互生

はきぶ
葉の基部 円形

みしゅるい
実の種類 核果

はながくいろ
花・萼色 白色

せつ
説
めい
明

日当たりのよい山地や林縁などに生育する常緑の低木です。枝は伸び、小枝は銀色を帯びた赤褐色をしています。葉は互生し薄い楕円形で長さ5-8 cm、幅3.3-3.8 cm程度です。葉先は細い鋭尖形、葉の裏は銀色を帯びています。花は白色、腋生で小さく、2個から6個の花が総状に集まって咲きます。実は楕円形、長さ約2 cmです。